

平成29年度事業報告

項 目	内 容
電話・面接相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電話相談 犯罪等の被害者及びその家族又は遺族（以下「犯罪被害者等」という。）からの相談を職員又は被害者支援ボランティアが専用電話（0120-43-0874）等で受付対応した。 ○ 面接相談 面接相談を希望し又は電話相談の結果、面接相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、職員等がセンター面接相談室などで面接し対応した。 ○ 電話・面接相談の受理状況（H29.4月1日～H30.3月31日） 受理総数 120件（相談者実数 42人） 電話71件、面接49件、 居住地域～東部26件、中部22件、西部57件、県外15件 主な内容～性犯罪、交通事故、傷害暴行等 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ カウンセリング及び医療的措置の支援 メンタルケアを必要とする犯罪被害者及びその家族に、専門家（精神科医、臨床心理士）を紹介したり、西部相談所において週1回常駐している臨床心理士によるカウンセリングを実施し、精神的負担の軽減を図った（18件）。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法的救済支援 法律専門家による相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、協力弁護士を紹介した（4件）。
直接的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役務の提供等 犯罪被害者等の精神的負担の軽減を目的として、その要望に応じて病院、法的機関等への付添、自宅訪問等の支援を実施した。 直接的支援の実施状況（合計35件）（実人数10人） <ul style="list-style-type: none"> 裁判所付添 19件 検察庁付添 4件 警察署付添 2件 弁護士事務所付添 1件 病院付添 1件 カウンセリング付添 1件 裁判所送迎 5件 自宅訪問 2件 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急避難場所の提供 1件 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国被害者支援ネットワーク被害者緊急支援金の支給 1件
犯罪被害者等給付金申請補助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪被害者等給付金の申請補助 犯罪被害者等からの相談を受けた際、犯罪被害給付金制度等の紹介を行い、申請補助はなかった。
自助グループに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場所提供等 犯罪被害者自助グループ「なごみの会」に対し、定例集会等の際、会場、資料、情報等の支援を行った。（6回） ○ 全国被害者支援ネットワーク開催のフォーラム・研修会への参加 東京 10月6～8日 ○ 「いのちのパネル展」の支援 「なごみの会」が、市役所、講演会場、警察施設等で開催する「いのちのパネル展」の設置準備等の支援を行った（9回）。

<p>広報・啓発活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「鳥取県被害者支援フォーラム」を開催し、県民の被害者支援意識の高揚を図った。 11月22日 倉吉未来中心小ホール（入場者約250名） ・ 「被害者支援を考える講演会」を開催し、被害者等の理解と被害者支援意識の高揚を図った。 9月9日 米子市文化ホール（入場者約180名） ・ 「命の大切さを学ぶ教室」を開催し、中・高校生等に対する命の大切さの意識高揚を図った。 4月25日米子北高等学校から始まり3月20日境高等学校まで14回12校で実施（高校6校、中学校6校） ○ ホームページによる広報活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> 専用ホームページで、支援センターの組織体制、業務の説明、活動状況、相談窓口の案内、新着情報等をタイムリーに掲示して、支援センターの利用を広報した。 ○ 広報・啓発用ポスター、リーフレット等の作成、配布 <ul style="list-style-type: none"> ポスター、リーフレット、チラシ等を作成して、関係機関等での掲示や街頭活動、講演会、研修会等での配布を行い、支援センターの広報及び被害者支援に対する意識の高揚を図った。 ○ 機関紙「センターだより」の発行（2回） <ul style="list-style-type: none"> 平成29年7月第17号、平成30年1月第18号を発行し、関係機関、賛助会員等へ送付し、支援センターの事業活動を報告するとともに協力を呼び掛けた。 ○ 街頭広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> 県と県警と合同で、 ・ 9月5日 米子市内大型ショッピングセンターにおいて「被害者支援を考える講演会」の開催呼びかけを行った。 ・ 11月17日 倉吉市内ショッピングセンター2か所において「鳥取県被害者支援フォーラム」等の開催呼びかけを行った。 ・ 11月28日 鳥取市内大型ショッピングセンターと日吉津村内大型ショッピングセンターの2か所において、全国犯罪被害者週間（11/25～12/1）に併せた意識啓発を行った。 ○ ラジオ放送の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月7日、DARAZネットにおいて「被害者支援を考える講演会」等の広報を行った。 ・ 1月24日、FM山陰において、犯罪被害者等の人権と被害者支援に関する広報を行った。 ○ 被害者支援講演会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> 被害者支援に関する意識の高揚・啓発を推進するため、各関係機関等の研修等に出向き、講演等を行った。（25回）
<p>関係機関・団体等との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪被害者支援の全国組織「全国犯罪被害者支援ネットワーク」の開催する研修会等へ出席して、全国の民間被害者支援団体との連携を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国犯罪被害者支援フォーラム・全国秋期研修会 東京 10月6日～8日 7名参加 ・ 全国被害者支援ネットワーク中四国ブロック研修会 鳥取 8月26日～27日 4名参加 香川 1月20日～21日 1名参加 ・ 全国事務局長会議 東京 4月21日 ・ 中四国ブロック事務局長会議 鳥取 8月25日 香川 1月19日 ○ 県内の関係機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> 被害者の支援に係わる警察及び行政機関の会議、研修会等へ出席するとともに連携について協議を行った。
<p>被害者支援ボランティアの養成、研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第10期被害者支援ボランティアの養成講座 7回実施 6名が養成講座を受講、3名をボランティアとして登録。 ○ 継続研修

	<p>8回実施 関係機関開催の研修会参加 10回 兵庫県こころのケアセンター研修 神戸 7月26日 3名参加 神戸 11月9日～10日 1名参加</p>
<p>財政・体制強化の 推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 財政強化の一環として <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国ネットの「ホンデリング・プロジェクト」に参加し読み終えた本で寄付をしていただく活動を実施した。 ・ 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加し、毎月11日にレシート投函を呼び掛けてレシート金額の1%を寄付していただく活動を実施した。 ・ 鳥取県共同募金会のつかいみちを選べる募金助成事業（1月から3月末）に参加、募金活動を実施した。 ○ 寄付金付き自動販売機の設置への取り組みを図った。 ○ 募金箱の設置場所の拡大を図った。
<p>組織の運営体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正会員数：24名 個人： 6名 法人：18団体 ○ 賛助会員数 個人：151名 法人：67団体 ○ 職員数 常勤職員：2名（事務局） 非常勤職員：4名 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局経理担当：1名） ・ 西部相談所：3名（うち1名はカウンセリング担当） ○ 支援活動員（ボランティア）登録数 38名